

市民社会をつくる
ボランティアフォーラム
TOKYO 2021

つながる
チカラ
新しい
カタチ



2021年

2月12日(金) 13日(土) 14日(日)

飯田橋セントラルプラザ及び
オンラインで開催

3日間にわたり、様々な社会問題に焦点を当てた20の分科会を開催します。

主催：東京ボランティア・市民活動センター

企画運営：市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2021実行委員会

後援：東京都、特定非営利活動法人日本NPOセンター

特別協賛：株式会社ガイア、株式会社三菱UFJ銀行

協賛：NECネットエスアイ株式会社、NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
公益財団法人SOMPO環境財団、公益財団法人SOMPO福祉財団
公益財団法人日本社会福祉弘済会、公益財団法人日本テレビ小嶋文化事業団
社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団、東京都生活協同組合連合会
トヨタ自動車株式会社

協力：社会福祉法人清水基金、生活協同組合パルシステム東京、中央労働金庫
モンデリーズ・ジャパン株式会社

事業協力：TOOS CORPORATION

(五十音順)

参加費

1分科会：1,000円

申込方法

ホームページをご覧ください。

フォーラムホームページ
<https://tvac.or.jp/vf/>

ボランティアフォーラム 検索



詳細・申し込みはコチラ!!

お問い合わせ

東京ボランティア・市民活動センター

TEL: 03-3235-1171

FAX: 03-3235-0050

フォーラムFacebook「市民社会をつくるボランティアフォーラムtokyo」

フォーラムTwitter「ボランティアフォーラム」

市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2021

趣旨

「市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO」は、私たちの暮らしに関わるさまざまな社会問題に焦点をあて、それを共有し、私たち市民にできることを考えていくためのイベントとして、2004年から開催しています。企画運営は実行委員会形式で、分野、地域、セクターを横断したボランティア・市民活動に関わるメンバーで組織しています。

毎年、参画した実行委員同士で問題意識を持ち寄り、協議を重ね、いま取り組みたい社会課題などを発信しています。

今年度は新型コロナウイルスの拡大に伴い、フォーラム当日もオンラインを併用しながら取り組むことに決めました。いままでとは勝手が違い戸惑いはありますが、多くの方が安心して参加できるための新たな挑戦をします。

また、今年のテーマは「つながるチカラ 新しいカタチ」。コロナ禍で新たな分断が生まれましたが、誰一人取り残すことなく、多様な人とつながりを持ち、新しいカタチを創造してゆくのだからという思いがこのテーマに込められています。

参加者のみなさんの声や想いを大切に、このフォーラムを誰でも参加できる市民活動・市民社会を考える機会にしたいと思います。みなさんのご参加をお待ちしています。

参加方法



会場参加のみ



オンライン (Zoom) 参加のみ



会場参加かオンライン (Zoom) 参加
どちらか選んでください

日時・会場

日	時間	飯田橋セントラルプラザ			区境ホール
		12階	10階	1階	
2月12日(金)	19:00 ┆ 21:00	1 自治体のお財布事情を知って、 協働に活かす 	2 バリアフリープロレスHEROの取り組み から ～誰もが生き生きできる 空間づくり～ 	3 お隣の外国人のこと、知っていますか? ～日本の制度から考える 多文化共生～ 	23 情報誌『ネットワーク』表紙原画展
		4 コロナ禍から考える、災害ボランティアと 外部支援者の役割 	5 子育て支援の変化とは ～新たなふれあいの模索～ 	6 ワカモノの声を聴く! 若者を取り巻く“いま”を知る 	
		7 災害大国日本、地域の力を結集! 	8 急増する孤独死は人ごとではない! ～年間3万人その現状とは～ Part2 	9 感じる福祉教育の“ひと工夫”を 考えよう! 	
2月13日(土)	10:00 ┆ 12:00	10 コロナ禍での居場所づくりの現在地 ～高齢者の交流の場を対象に～ 	11 コロナ禍における地域イベントオンライ ン化の実状 	12 オンラインでのつな がりづくりを考える ～コロナでの 経験から～ 	22 ふれあい満点 市場 11:00-15:00
		13 身近なところから、 身近なところ で考える、 SDGs。 	14 オンラインカフェ「新しいカタチ」(参加費無料) 		
		15 居心地のいい社会に向けて、 政治も動かす共感力 	16 LINEのできる地域活性化 自動応答 サービス(LINE Bot)を活用して、 はじめの一步を踏み出そう! 	17 障害を持つということ ～ヒューマンライブラリーの手法で 学ぶ～ 	
2月14日(日)	13:30 ┆ 15:30	18 ボランティアと有償活動を知る 	19 新しいボランティアのカタチ ～活動の輪を広げる～ 	20 コロナに負けない! これからの助成と活動のカタチ 	22 ふれあい満点 市場 11:00-15:00
		21 クロージング つながる力(参加費無料) 			
2月14日(日)	16:30 ┆ 18:00				

分科会

分科会とはテーマごとに、考えたり、話し合ったり、研究したりする会のことです。

 **きいてみよう**
出演者やパネリストの話を聞くことが中心

 **みてみよう**
作品を鑑賞したり、実際にみたりすることが中心

 **はなしてみよう**
出演者やパネリストと参加者同士で話し合うことが中心

 **やってみよう**
実際に書いたり、作ったり、動いたししながら体感することが中心

 **はじめてでも大丈夫**
初心者の方でも参加できる

1日目 | 2月12日(金)

1 2月12日(金) 会場: 10人
19:00~21:00 オンライン: 20人  会場・オンライン

 きいてみよう  はなしてみよう

自治体のお財布事情を知って、協働に活かす

出演 早坂 敏文さん(朝日新聞ジャーナリスト学校)

どこも同じように見える自治体の財政ですが、実態は雲泥の差があります。人口や規模だけでなく、各市区町村がどのように自治体運営をしてきたかによって、お財布事情は大きく異なります。さらに、新型コロナウイルスによって、自治体の収入が悪化し、予算が縮小していく懸念も。

ここでは、自治体の財政状況を読み解く方法を知り、市民活動の協働提案に活かします。

こんな方におすすめ!

- ・自治体財政に関心がある団体や人
- ・自治体と協働事業を行っている、もしくは取り組みたいと考えている団体や人
- ・提言活動を行っていききたい団体や人

2 2月12日(金) 会場: 15人
19:00~21:00 オンライン: 30人  会場・オンライン

 きいてみよう  みてみよう
 はじめてでも大丈夫

バリアフリープロレスHEROの取り組みから ～誰もが生き生きできる空間づくり～

出演 豊島 修二さん(GPSプロモーショングループ 会長)
佐藤 剛由さん(NPO法人バリアフリーエンターテイメントサポート 理事長)
友龍さん(バリアフリープロレスHERO所属選手(デフレスラー))

デフレスラーがいるバリアフリープロレスをご存知ですか?様々な障がいのある観戦者が増加している今話題の興行です。「誰もがプロレスを楽しむ空間を作りたい」を合言葉に、様々な垣根を取り除く「夢の空間づくり」を目指しています。なぜ、プロレスにバリアフリーが必要だったか?過去の経緯や映像を交えながらお話を伺います。

こんな方におすすめ!

- ・バリアフリー化について知りたい方
- ・誰もが楽しめる機会を作りたい方
- ・行政や中間支援組織の職員 など

3 2月12日(金) 会場: 20人
19:00~21:00 オンライン: 30人  会場・オンライン

 きいてみよう  はなしてみよう

お隣の外国人のこと、知っていますか?～日本の制度から考える多文化共生～

出演 高橋 恵介さん(株式会社グローバルトラストネットワークス 特定技能推進室 室長)
西尾 加朋さん(一般社団法人OCNet 理事)
渡戸 一郎さん(明星大学 名誉教授)

2018年の出入国管理法の改定により、在留資格に「特定技能」が新設されました。これは、人手不足に対応するため、即戦力となる外国人材を受け入れようとするものですが、外国人を単なる労働力としてしか見ていないようにも思われます。この分科会では、日本の外国人に対する政策を学び、外国人と日本人が、地域でともに暮らすためのあり方について考えます。

こんな方におすすめ!

- ・地域で外国人を見かけることが増えたと気になっている方
- ・「特定技能」「技能実習制度」に関心のある方
- ・外国人との共生に関心のある方 など

2日目 | 2月13日(土)

4 2月13日(土) 10:00~12:00 オンライン: 30人 オンラインのみ

👤 はなしてみよう

コロナ禍から考える、災害ボランティアと外部支援者の役割

出演 上島 安裕さん (一般社団法人ピースポート災害支援センター)

2020年7月の九州豪雨など、コロナ禍の状況で発生した自然災害では、被災地域の外から支援に入る災害ボランティア(外部支援者)について、感染拡大のリスクが指摘されるようになりました。本分科会は、従来の「駆けつける」支援以外に、被災地域の外から被災地を支援できる方法について、分科会参加者同士で議論を深めたいと思います。

こんな方におすすめ! ・災害ボランティア活動に興味がある方、経験のある方

5 2月13日(土) 10:00~12:00 会場: 20人 オンライン: 20人 会場・オンライン

🗣️ きいてみよう 👤 はなしてみよう

子育て支援の変化とは～新たなふれあいの模索～

出演 幾島 博子さん (NPO法人ふれあいの家 おばちゃんち 代表理事)
子育て支援活動の団体

with コロナの中、行動制限やコミュニケーションが取りづらい状況になり、子育て支援の活動においても新たな課題が発生しています。課題に対する対応方法を検討し、できることから実行している事例を発表していただき、本分科会で得た情報、知見、アイデア(必要としている支援、サービス形態)を基にこれからの支援活動の発展につなげていきます。

こんな方におすすめ! ・子育て支援、保育に従事している方
・子育て支援、保育に興味がある方
・子育て真っ最中(乳幼児)のパパ、ママ

6 2月13日(土) 10:00~12:00 会場: 20人 オンライン: 20人 会場・オンライン

🗣️ きいてみよう 👤 はなしてみよう

ワカモノの声を聴く! 若者を取り巻く“いま”を知る

出演 大学生 1~2名
小島 祥美さん (東京外国語大学 多言語多文化共生センター 准教授)

コロナ禍で、ずっと続くオンライン授業。大学生になったのに、学校にも全然行けず、友達もできない。人と会うこともできず、家でスマホを眺める日々。「どうにかしたい」「何かしなきゃ」と思いつつ、どうしたらいいかわからず、身動きが取れなくなっている若者たち。彼らはいま、何を考え、感じているのでしょうか?

まずは若者の声を聴き、若者を身近で支える支援者の視点も交えながら、私たちがこれからできることを考える機会にしたいと思います。

こんな方におすすめ! ・若者に興味・関心がある方
・若者を応援したいと思っている方
・若者支援を行っている方(学校関係者、ボランティアセンター職員、福祉施設職員、NPO職員など)

7

2月13日(土)
13:30~15:30会場：20人
オンライン：20人

会場・オンライン

 きいてみよう >  はなしてみよう
 はじめてでも大丈夫

災害大国日本、地域力を結集！

出演 吉田 建治さん (日本NPOセンター 事務局長)
 加納 基成さん (千葉南部災害支援センター センター長/NPO法人ディープデモクラシーセンター 副代表理事/ちば居住支援センターセンター長)

毎年のように自然災害が起きる日本。行政、地縁組織は日頃から地域の防災・減災に取り組んでいますが、それだけでは限界があります。また、地域では多様なボランティア・市民活動団体が日頃から活動していますが、災害支援に取り組む団体は多くはありません。「災害時にもいかせる地域力」について、事例を交えながら考えていきます。

こんな方に
おすすめ! ・NPO支援センター、中間支援組織、ボランティア・市民活動団体、町会・自治会・自主防災組織の方
 ・災害支援に関心のある方

8

2月13日(土)
13:30~15:30会場：20人
オンライン：30人

会場・オンライン

 きいてみよう >  はなしてみよう

急増する孤独死は人ごとではない！～年間3万人その現状とは～ Part2

出演 小島 美羽さん (遺品整理クリーンサービス 著書：時が止まった部屋)
 木村 紘輔さん (足立区社会福祉協議会 地域福祉課 主事)
 廣瀬 カズ子さん (ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし 代表)

孤独死は年間3万人を超え、社会問題として今後益々増えていきます。コロナ禍によって人との接触が減少したことで、単身者にはその危険が増大しています。孤独死の現場で特殊清掃を行っている小島美羽氏を招き、行政関係者を交えてコロナ禍による対策や対応並びに孤独死への注意喚起と啓蒙活動について考えましょう。

※事前に動画をご覧の上、ご参加下さい。YouTubeで検索「UNDERCOVER ASIA: LONELY DEATHS」

 YouTube
QRコード


こんな方に
おすすめ! ・町内会、自治会、住宅管理組合、社協職員、自治体関係者、福祉関係職員、ケアマネージャー、ケースワーカー、物件管理会社の方 など

9

2月13日(土)
13:30~15:30

オンライン：20人


オンラインのみ

 きいてみよう >  はなしてみよう

感じる福祉教育の“ひと工夫”を考えよう！

出演 高見 和幸さん (荒川在宅難病患者会 代表)
 青木 悠弥さん (立教大学 コミュニティ福祉学部3年/西東京市視覚障害者協会 理事)

中間支援団体によせられる福祉教育の依頼は、アイマスク体験等の障がい理解が多く、“恐怖体験”のみで終了することに悩む人も多いのではないのでしょうか。この分科会では福祉教育を通して障がい当事者が本当に伝えたいことを知り、どう工夫すれば、伝えたいことを感じてもらえる福祉教育を実施することができるのかをみんなで考えたいと思います。

こんな方に
おすすめ! ・福祉教育をコーディネートする人 ・学校の先生
 ・福祉教育の講師 ・その他関心のある方

10

2月13日(土)
16:30~18:30会 場：20人
オンライン：40人


会場・オンライン

 きいてみよう  はじめてでも大丈夫

コロナ禍での居場所づくりの現在地～高齢者の交流の場を対象に～

出演 藤原 佳典さん(東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究部長)
望月 美智子さん(まちナカ・コミュニティ 西荻みなみ 理事)
大久保 隆さん(おむすび倶楽部友の会 代表)

密を良しとしてきた地域の居場所づくり。感染症により集うことが難しくなり、多くの拠点が休止しました。居場所づくり団体から休止中の取り組みや再開の経緯、どのような想いでこの事態を乗り越えようとしているのかを伺い、研究者から健康・福祉の観点でみた居場所づくりについてお話しいたします。感染症の流行を経験した今、居場所づくりの意義について考える会です。

こんな方に
おすすめ! ・地域の居場所づくりをしている方
・地域の居場所づくりをしたい方

11

2月13日(土)
16:30~18:30会 場：20人
オンライン：20人


会場・オンライン

 きいてみよう >  はなしてみよう

コロナ禍における地域イベントオンライン化の実状

出演 高野 雄太さん(尾山台フェスティバル ONLINE/尾山台商栄会商店街振興組合 理事)
今井 迪代さん(アートアクセスあだち 音まち千住の緑 事務局)
KAEDE さん(一般社団法人ほしかぜ 代表/オンライン盆踊り大会主催・総合演出)
水田 征吾さん(ちょうふチャリティーウォーク 実行委員長/調布市市民活動支援センター 運営委員)

コロナ禍において、多くの地域イベントが中止に追い込まれる中、オンラインで開催されたイベントも数多く存在します。本分科会では、オンライン開催を実現した団体より開催に至るまでの過程を共有いただき、今後、こういった状況下でイベント開催を実現するための多くのヒントを持ち帰ることができる場を提供します。

こんな方に
おすすめ! ・地域イベントに関わる方
・ITを活用したイベントを実施している・実施したい方

12

2月13日(土)
16:30~18:30

オンライン：20人



オンラインのみ

 きいてみよう >  はなしてみよう

オンラインでのつながりづくりを考える～コロナでの経験から～

出演 西川 正さん(NPO法人ハンズオン埼玉 常務理事)
須田 正子さん(よりあい*ええげえし 事務局長)
石橋 裕子さん(NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会 理事長)

新型コロナの感染拡大防止のため、集まることが難しくなった結果、地域活動が縮小し、つながりが薄くなった人たちが大きな影響を受けています。一方で、地域活動のオンライン化により、新たなつながりも生まれています。これからの時代、必要な人たちにどう情報を届けるのか、オンラインを活用した新たなつながりづくりについて考えます。

こんな方に
おすすめ! ・地域活動の実践者・支援者
・地域でのつながりづくりに関心のある方

13

2月13日(土)
16:30~18:30

オンライン: 40人


オンラインのみ

 きいてみよう >  はなしてみよう

 はじめてでも大丈夫

身近なところから、身近なところで考える、SDGs。

出演 小柴 徳明さん (富山県黒部市社会福祉協議会)
土居 弓子さん (SDGsいたばしネットワーク)
上田 英司さん (日本NPOセンター)

地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っているSDGs。企業や協同組合などでも取り組みがすすめられています。私たちが生活する地域ではまだ知られていなかったり、遠い存在である場合も少なくありません。新型コロナウイルスの感染が拡大し、「誰一人取り残さない」ことが身近でもますます大切になっているなかで、地域でSDGsに取り組んでいる事例を知り、明日からコロナ後のことを考えるための方法について話し合います。

こんな方に
おすすめ!

- ・企業の社員、生協の組合員の方
- ・地域で活動するボランティアグループ・NPOのメンバー
- ・地域での活動に関心のある一般の方

14

2月13日(土)
19:00~20:00会場: 40人
オンライン: 100人

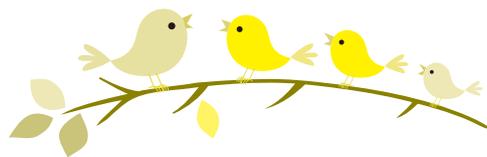
会場・オンライン

※分科会参加者、申し込み不要・出入り自由

 きいてみよう >  はなしてみよう

オンラインカフェ「新しいカタチ」

出演 参加者の皆さん、実行委員



分科会の時間だけでは話さきれない!!もっと参加者同士で話したい!
そんな参加者の皆さんや出演者、実行委員などが、オンライン&オフラインで自由に語り合える場です。
分科会をつくる際に考えた、4つのテーマ「地域や居場所」「障害理解や当事者」「ボランティア」「新しい取り組みなど」の部屋に分かれて交流します。途中で部屋を移動することもできます。
※オンラインで部屋を移動するためには、Zoomの最新版のダウンロードが必要です。

こんな方に
おすすめ!

- ・ボランタリーフォーラム参加者の皆さん

3日目 | 2月14日(日)

15

2月14日(日)
10:00~12:00会場: 20人
オンライン: 20人

会場・オンライン

 きいてみよう >  はなしてみよう

 はじめてでも大丈夫

居心地のいい社会に向けて、政治も動かす共感力

出演 齋藤 博さん (東洋大学 ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科 准教授)
末永 恵理さん (一般社団法人乳児用液体ミルク研究会 代表)
神元 幸津江さん (子どもの遊び場 子ども会議)

実は暮らしに身近な政治。でも、選挙以外の政治参加って何だろう?そして、人を動かすために必要な共感って何だろう?小学生が遊び場と子どもの意見の尊重を求めて区に提出した陳情、液体ミルクの開発を求めて電子署名を利用した事例から、自分達にとって「居心地のいい社会・暮らし」の実現に向けて何ができるのかを考えます。

こんな方に
おすすめ!

- ・ボランティア・市民活動団体の方
- ・中間支援組織の方
- ・学生
- ・議員
- ・何かを変えたいと活動している方 など

16

2月14日(日)
10:00~12:00

会場：20人

📍
会場のみ👂 きいてみよう > 🗨 はなしてみよう
👉 やってみよう 📖 はじめてでも大丈夫

LINEでできる地域活性化 自動応答サービス (LINE Bot) を活用して、はじめの一步を踏み出そう!

出演 榎本 真美さん (Code for CAT)

LINEアプリの自動応答サービス (LINE Bot) を活用し、地域猫活動を支援している団体の取組を参考にして、参加者全員でLINE Botを作ります。地域で活動する際の「素朴な質問」と「回答」を自分たちで考え、実装していきます。プログラミングの知識は不要です。新しいつながりのきっかけとなる手法を学びます。

※参加の際は、各自のスマートフォンにLINEアプリを事前にダウンロードしてください。

こんな方に
おすすめ!

- ・身近なオンラインツールを活動等に生かしたい方
- ・オンラインツールに関心はあるけど、ちょっと不安な方
- ・オンラインツールに関心がある学生・生徒・中間支援組織の方



17

2月14日(日)
10:00~12:00

オンライン：10人

📺
オンラインのみ

👂 きいてみよう 📖 はじめてでも大丈夫

障害を持つということ～ヒューマンライブラリーの手法で学ぶ～

出演 ・佐々木 崇志さん (プラスヴォイス所属カメラマン/聴覚障害の方) ・アスペルガー症候群当事者の方
 ・福地 健太郎さん (JICA勤務/視覚障害の方) ・Yummy (スタンドアップフォーマルチカラーズ 代表/発達障害当事者)
 ・今村 彩子さん (「友達やめた」映画監督/聴覚障害の方)

障害を持つということに対して、私たち当事者がどのように思っているか、考えたことはありますか? 当事者の持つ思い、生活に対する価値観、悩み、そして希望について、“本を読むように” 聴いてみませんか? ヒューマンライブラリーは物語る生きる本 (当事者) と皆さんが物語 (当事者の思い) を分かち合う場です。気軽に耳を傾けに来てください。どの本 (当事者) を聴けるかは、当日のお楽しみです。

こんな方に
おすすめ!

- ・障害者支援を仕事にしている方
- ・障害児・者支援のボランティアに興味がある方
- ・障害と生き方について考えたい方

18

2月14日(日)
13:30~15:30会場：20人
オンライン：10人📍📺
会場・オンライン

👂 きいてみよう > 🗨 はなしてみよう

ボランティアと有償活動を知る

出演 小野 晶子さん (独立行政法人労働政策研究・研修機構 研究員)
 枝見 太郎さん (一般財団法人富士福祉事業団)

80年代からはじまった「有償ボランティア」と称された有償サービス。安価な労働なのではないかという問題提起の一方で、そのサービスを必要としている人や活動者がいます。なぜ“ボランティア”と冠する必要があるのか。その背景を知り、今後のボランティア活動との関係性を共に考え、話し合いたいと思います。

こんな方に
おすすめ!

- ・ボランティア活動を推進している方
- ・有償ボランティアを推進している方
- ・または双方の活動者 など

19

2月14日(日)
13:30~15:30

オンライン: 20人


オンラインのみ

 きいてみよう >  はなしてみよう
 はじめてでも大丈夫

新しいボランティアのカタチ～活動の輪を広げる～

出演 鈴木 祐司さん(荒川区社会福祉協議会 地域ネットワーク課 荒川ボランティアセンター)
堤 彩さん(日野市社会福祉協議会 日野市ボランティア・センター)
釜島 豪顕さん(社会福祉法人東京栄和会 なぎさ楽苑)

新型コロナウイルス感染症拡大により、対面型活動が困難な状況に追い込まれています。そのような中でも、オンラインや間接的支援等、様々な創意工夫で活動を継続している団体もあります。私たちはこれを「新しいボランティアの形」と捉え、コロナ後にも広がっていくと考えています。本分科会では、そんな新しいボランティアを知り、語り、生み出す機会にしたいと思います。

**こんな方に
おすすめ!** ・社会福祉協議会、中間支援組織、大学等のボランティアセンターの職員
・ボランティアを受け入れている施設・団体の職員

20

2月14日(日)
13:30~15:30

オンライン: 30人


オンラインのみ

 きいてみよう >  はなしてみよう

コロナに負けない! これからの助成と活動のカタチ

出演 安藤 雄太さん(東京ボランティア・市民活動センター アドバイザー)
民間助成団体 役職員のみなさん
市川 徹さん(一般財団法人世田谷コミュニティ財団 専務理事)
東京ボランティア・市民活動センター ゆめ応援ファンド特別助成担当

新型コロナウイルスの感染拡大により、活動資金を助成する団体も、厳しい状況の中でボランティアグループやNPOを応援する方法を模索しています。

今回は、こうした状況における助成団体の取り組みと想いを聴き、コロナ禍においても活動を続けたい団体と応援する人たちが出会う機会を創出し、今後の活動のヒントについて話し合います。

**こんな方に
おすすめ!** ・助成団体や、社会貢献をしている(今後考えている)企業・団体
・コロナ禍での活動について資金面で悩みを抱える人・団体

21

2月14日(日)
16:30~18:00会場: 40人
オンライン: 100人

会場・オンライン

※分科会参加者、申し込み不要

 きいてみよう >  はなしてみよう

クロージング つながる力

出演 山崎 美貴子(東京ボランティア・市民活動センター 所長)
岩手・宮城・福島の3県で市民活動に取り組む方

東日本大震災から10年が経とうとしています。この間、被災された人や地域を支えようと新たなつながりや連携が、全国で広がりました。一方、新型コロナウイルスにより、人と人とのつながりが失われることの危惧もあります。

わたしたち一人一人のつながる力を持ち寄り、孤立や分断を超えた新しいカタチが模索されます。クロージングでは、意志あるボランティアのチカラの価値と可能性について考えます。

**こんな方に
おすすめ!** ボランティアフォーラムで、
・新しいつながりをつくりたい方 ・自分の気づきを共有したい方 ・自分の学びを深めたい方

22

2月13日(土) 11:00~15:00
2月14日(日) 11:00~15:00

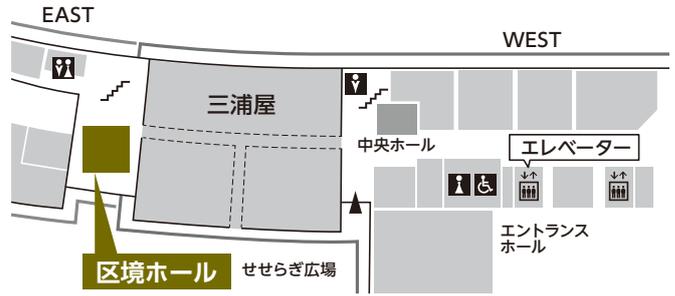
会場：飯田橋セントラルプラザ 1階 区境ホール

ふれあい満点市場

～NPO・NGOの作品展示販売～

通販やインターネットでいろいろな物が買えるようになった時代。みなさんは、自分が普段なにげなく使っている物を作っている方を知っていますか？

ふれあい満点市場では、ボランティアグループや福祉作業所の方が、手作りの作品を展示販売しています。作品には、作り手の想いがこめられています。お買い物しながら、作品ができるまでのことや、作品を作っている方のことを聞いていきませんか？



23

2月12日(金)~2月14日(日)
開催中いつでも

会場：飯田橋セントラルプラザ 10階 フリースペース

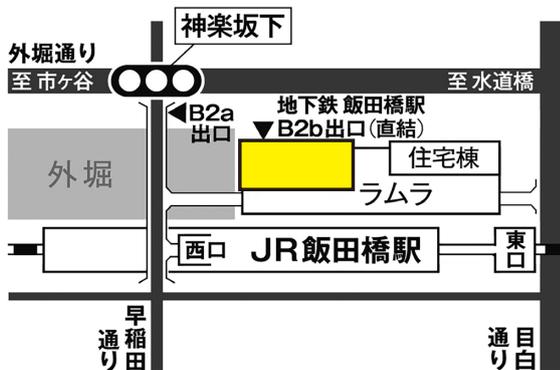
情報誌『ネットワーク』表紙原画展

隔月で発行している東京ボランティア・市民活動センターの情報誌『ネットワーク』。2016年度から表紙はフローラル信子さんに書いていただいています。

今回、10階のフリースペースを使って、表紙の原画展を開催します。フローラルさんの温かい絵を楽しんでください。

Information

会場案内



飯田橋セントラルプラザ

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階・12階
TEL:03-3235-1171

アクセス

- ・JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手
- ・地下鉄(有楽町線・南北線・東西線・大江戸線) 飯田橋駅 B2b出口

親子のための休憩室

親子でご利用いただける休憩室を設けています。また、託児サービスもありますので、ご希望の場合は、**1月15日(金)まで**に東京ボランティア・市民活動センターへお問い合わせください。

サポートが必要な方へ

車いすの介助や、手話通訳等必要な配慮がありましたら、**1月15日(金)まで**に東京ボランティア・市民活動センターまでご連絡ください。
TEL:03-3235-1171
FAX:03-3235-0050

車いすやベビーカーをご利用の方へ

JR飯田橋駅をご利用の場合は、西口にあるエレベーターをご利用ください。地下鉄飯田橋駅をご利用の場合は、有楽町線及び南北線の中央改札付近のエレベーターをご利用いただき、地上出口(外堀通り沿い)から橋を渡り、セントラルプラザの敷地内に進んでください。

● ● ● ボランティア募集：ボランティアについては現在検討中です。後日ホームページでご案内致します。 ● ● ●

東京ボランティア・市民活動センターとは

東京ボランティア・市民活動センターは、ボランティア・市民活動相談やNPOの設立、運営、会計相談、情報提供、研修、ネットワーキングに取り組んでいます。また、会議室や印刷機の利用、貸し出しなども行っています。ちょっとした打ち合わせにお使いいただけるフリースペースもありますので、どうぞお気軽にご利用ください。

1分科会 1,000円

高校生以下または、18歳未満の方
※学生証や年齢のわかるものをご提示いただく場合があります。

無料

次の分科会・特別企画は入場無料です

- No.14「オンラインカフェ『新しいカタチ』」
(2月13日(土) 19:00～20:00)
- No.21「クロージング つながる力」
(2月14日(日) 16:30～18:00)
- No.22「ふれあい満点市場～NPO・NGOの作品展示販売～」
(2月13日(土)・2月14日(日) 11:00～15:00
飯田橋セントラルプラザ1階区境ホール)
- No.23「情報誌『ネットワーク』表紙原画展」
(2月12日(金)～2月14日(日) 開催中いつでも
飯田橋セントラルプラザ10階フリースペース)

ご参加の皆様へ

- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、今年度、こういった形で開催できるか、試行錯誤しながら、今回の企画をしました。ボランティアフォーラムをオンラインで行うのは、私たちも初めての経験です。工夫の必要などところがたくさんあるかと思いますが、参加者のみなさんと一緒に進めていけたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。
- ・主催者の判断により、開催が中止または、内容が変更になる場合がございます。
- ・許可がない限り、分科会の撮影、録音、録画、資料や映像等の二次使用はご遠慮ください。
- ・主催者の判断による中止の場合を除き、一旦ご入金いただいた後のご返金はいたしかねますのでご了承ください。

会場参加の方へ 新型コロナウイルス感染症等の予防のために

- ・会場で参加される方は、マスクの着用をお願いします。
- ・発熱がある場合や体調不良の場合は、ご参加をお控えください。
- ・会場内・フリースペースでの食事はお控えください。昼食は、会場以外のスペースや店舗等をご利用ください。飲み物は会場内でお飲みいただけます。
- ・参加後に、新型コロナウイルス感染症等の感染が判明した場合は、速やかに、東京ボランティア・市民活動センターまでご連絡ください。TEL:03-3235-1171

オンライン参加の方へ

- ・当日は、Zoomを使用します。最新バージョンのダウンロードをお願い致します。
- ・オンラインでのご参加には、インターネット接続が必要です。接続に係る通信料や設備は、参加者各自の負担となります。
- ・スマートフォンからの接続は、不安定な場合が多いため、出来る限りパソコンからの接続を推奨致します。
- ・分科会によっては、ブレイクアウトセッションの機能を使用して、少人数のグループでお話ししていただく場合があります。マイク機能が使えるよう、また周囲の環境にも配慮してご参加ください。
- ・参加費を入金していただくと、ZoomのID/パスワードが書かれた参加券(PDF)がダウンロードできます。
- ・出欠の確認のため、表示名を、申し込み時の「名字」がわかるように設定していただくようご協力をお願いします。
- ・1日の中で会場参加とオンライン参加の分科会に参加する場合には、10階ボランティアセンターのフリースペースでWi-Fi利用が可能です。イヤホンマイクやパソコン等は貸し出ししていませんので、必ずご持参ください。フリースペースは、様々な方が利用されます。必ずイヤホンマイクを装着してご参加ください。
- ・Zoomを使用するのが初めて等で不慣れな方は、接続テスト日(2021年1月23日(土) 10:00～11:00、1月27日(水) 14:00～15:00)をご利用ください。詳細は申し込み後に発行する参加券(PDF)をご覧ください。

申し込み・支払い方法

(1) 東京ボランティア・市民活動センターホームページ
<https://www.tvac.or.jp/vf/>
からお申し込みください。
フォーラムホームページ QRコード

(2) ホームページからの申し込みがむずかしい方は、参加申込書(裏面)に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送のいずれかでお申し込みください。

(3) お支払い後に参加券(PDF)を受領してください。

- ※新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、会場での現金受付はできません。必ず事前に支払いをお願いします。
- ※グループで申し込み際もお手数ですが、一人ずつ申し込んでください。
- ※定員に達し次第、締め切りとなります。
- ※分科会によってはパンフレットから内容を一部変更する可能性があります。
- ※個人情報東京ボランティア・市民活動センターが適切に管理し、NPO・ボランティアに関する研修等のご案内に使用させていただきます。個人情報の取り扱いに関する方針はホームページをご覧ください。

<p>ホームページからお申し込みの場合</p> <p>申込ページ</p> <p>氏名・所属等入力</p> <p>分科会の選択 ※開催時間が重なっている分科会は選べません。 ※申し込み内容をご確認ください。</p> <p>支払い コンビニ払い・銀行振込・各種クレジット・その他オンライン決済 ※「決済へ進む」をクリックする(TOOS CORPORATIONの決済ページへ移動します)。 ※コンビニ払い、銀行振込みの手数料はご負担ください。また申し込み日より7日以内に支払いを完了してください。</p> <p>参加券(PDF)をダウンロード ※参加券(PDF)のダウンロードリンクは、支払い時に入力したメールにも届きます。 ※コンビニ払い・銀行振込みの場合は、入金確認後、メールで参加券(PDF)のダウンロードリンクが届きます。</p>	<p>FAX、郵送でお申し込みの場合</p> <p>「参加申込書」に記入</p> <p>FAX送信</p> <p>お支払い情報の受信 ※お支払い情報がメールで届きます。 ※メールアドレスがない方へは、FAXもしくは郵送いたします。 ※申込後、5日以上連絡がない場合は、お電話ください。TEL:03-3235-1171</p> <p>支払い コンビニ払い・銀行振込 ※支払い時の手数料はご負担ください。また申し込み日より7日以内に支払いを完了してください。 ※郵送の場合は届くまでに時間がかかる分、支払いの期間が短くなりますのでご注意ください。</p> <p>参加券の受領 ※入金確認後、メールで参加券(PDF)のダウンロードリンクが届きます。 ※メールアドレスがない方へは、FAXもしくは郵送いたします。</p> <p>お支払いが間に合わない場合は、東京ボランティア・市民活動センターへご連絡ください。</p>
---	--



市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO2021

ふりがな お名前	ご所属		
〒	-	TEL ()	
※行事保険加入のため必ずご記入ください。		FAX ()	
E-mail			
※参加券(PDF)の送付や、中止・変更の際の連絡に使用しますので、必ずご記入ください。E-mailのない方は、TEL(あればFAXも)を必ずご記入ください。			
入金方法	コンビニ払い・銀行振込み	※手数料がかかります。	1分科会参加費 1,000円

参加したい分科会 (オンライン参加か会場参加かえらぶ) に○をつけてください。

開催日	時間	オンライン参加	会場参加	分科会番号 (詳細)	分科会名
12日 (金)	19:00~21:00			1(p.1)	自治体のお財布事情を知って、協働に活かす
				2(p.1)	バリアフリープロレス HEROの取り組みから ~誰もが生き生きできる空間づくり~
				3(p.1)	お隣の外国人のこと、知っていますか? ~日本の制度から考える多文化共生~
13日 (土)	10:00~12:00		—	4(p.2)	コロナ禍から考える、災害ボランティアと外部支援者の役割
				5(p.2)	子育て支援の変化とは~新たなふれあいの模索~
				6(p.2)	ワカモノの声を聴く!若者を取り巻く“いま”を知る
	13:30~15:30			7(p.3)	災害大国日本、地域の力を結集!
				8(p.3)	急増する孤独死は人ごとではない! ~年間3万人その現状とは~ Part2
			—	9(p.3)	感じる福祉教育の“ひと工夫”を考えよう!
	16:30~18:30			10(p.4)	コロナ禍での居場所づくりの現在地~高齢者の交流の場を対象に~
				11(p.4)	コロナ禍における地域イベントオンライン化の実状
			—	12(p.4)	オンラインでのつながりづくりを考える~コロナでの経験から~
		—	13(p.5)	身近なところから、身近なところで考える、SDGs。	
14日 (日)	10:00~12:00			15(p.5)	居心地のいい社会に向けて、政治も動かす共感力
			—	16(p.6)	LINEのできる地域活性化 自動応答サービス (LINE Bot) を活用して、はじめの一步を踏み出そう!
			—	17(p.6)	障害を持つということ~ヒューマンライブラリーの手法で学ぶ~
	13:30~15:30			18(p.6)	ボランティアと有償活動を知る
			—	19(p.7)	新しいボランティアのカタチ~活動の輪を広げる~
		—	20(p.7)	コロナに負けない!これからの助成と活動のカタチ	

問合せ・申込先

東京ボランティア・市民活動センター

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階

TEL: 03-3235-1171 FAX: 03-3235-0050

HP: <https://www.tvac.or.jp/vf/> Facebook: 「市民社会をつくるボランティアフォーラム tokyo」 Twitter: 「ボランティアフォーラム」